

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 5 月 7 日現在

機関番号：15201

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2009～2011

課題番号：21320139

研究課題名（和文） ヨーロッパ・アメリカにおける「市民の自分史」の調査研究

研究課題名（英文） Research of the “Personal History of Citizenship” in Europe and America

研究代表者

榎原 茂（MAKIHARA SHIGERU）

島根大学・教育学部・教授

研究者番号：00209412

研究成果の概要（和文）：自伝・回想録や日記、手紙などのエゴドキュメント（自分史史料）を、市民的实践として捉え直し、それらの歴史的な意味を再考した。その結果、19 世紀末から 20 世紀前半の時代幅のなかで、英、独、仏、米、墨、ソ連という国の違いや社会的状況・境遇の違いは当然ながらも、「自分を語る」ことのパフォーマンス性が個や少数集団のアイデンティティとシチズンシップ形成にとって重要な位置を占めていたことが明らかになった。

研究成果の概要（英文）： Through our research, “ego-documents”, such as autobiography and reminiscences, diary, letters, have been regarded as civic practice, and those historical meanings reconsidered. As a result, from the end of the 19th century to the interwar period, beyond the difference of historical context of these countries, U.K., Germany, France, U.S.A., Mexico, U.S.S.R, and the difference of social situations, we have brought out the performativity of “telling one-self” which was essential for the identity and citizenship of an individual, or a minority group.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009 年度	6,100,000	1,830,000	7,930,000
2010 年度	3,100,000	930,000	4,030,000
2011 年度	1,500,000	450,000	1,950,000
年度			
年度			
総計	10,700,000	3,210,000	13,910,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・西洋史

キーワード：シチズンシップ、市民、自分史、エゴドキュメント、公共性、アイデンティティ、パフォーマンス、ヨーロッパ：アメリカ：ソ連

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 現代的課題：「欧州市民」「地球市民」といった制度や用語、あるいはデニズンシップ（denizenship）のようなコミュニティの市民権の主張に現れているように、今日「市

民」の意味内容は大きく変化し、多様化してきた。他方で 21 世紀に加速化した経済的グローバル化は、新自由主義の旗印の下に未曾有の競争社会を現出させ、一国内、

と同時に国家間の格差を一段と拡大しつつあり、人々の分裂を深めている。この時代状況にあって、「市民として生きること」「市民として連帯すること」の意味が改めて問い直されている。

(2)歴史学の動向：前世紀の第4四半世紀以降、市民社会の理解に係わって、「公共性」論、「ジェンダー」論、「国民国家」論など歴史学の視座の転換がみられた一方で、文化史の興隆とともに、個人の歴史や記憶をナラティブ（語り）とパフォーマンス（遂行的行為）として捉え直そうとする関心も高まってきた。これらの動向を踏まえて、「自らを語る行為」「語り」とシチズンシップとの関係に着目するにいたった。

## 2. 研究の目的

(1)個人の「語り」「エゴ・ドキュメント（自分史史料）」を調査、収集する。そしてそれらを分析しながら、①当事者にとっての「市民」の意味内容を解明し、②個人のアイデンティティとシチズンシップとの連なり・重なり、共同性のせめぎ合いを解明する。

(2)ほぼ1世紀前の19-20世紀転換期～両大戦間期の時代を現代的シチズンシップの揺籃期として位置づけ、それぞれの国家や地域の特徴について考察する。

(3)共同研究を通じて、個別性の名において語られたマイクロヒストリーを相互に関連づけ、編み合わせることにより、集合的な「市民の自分史」を構築する。

## 3. 研究の方法

(1)各メンバーが個別の対象について文献・史料収集と読解、分析をおこなう。同時に、それぞれの研究対象が置かれていた歴史的状況について調査し、経済、政治、あるいは文化の諸側面においてどのような変化と特徴がみられたのかを明らかにする。

(2)各メンバーが収集、分析した「市民の自分史」を提示し合い、それらを次の三つのサブ・テーマを中心に比較参照しながら、集合体としての「市民の自分史」に共通する論点をさぐる。①「市民」の意味するところ、②「市民であること」が生み出す共同性、差別や排除の論理、③他の共同性と

の連なり・重なり、あるいはせめぎ合い

(3)メンバーそれぞれが前段階で確認された論点を踏まえながら、研究対象の「市民の自分史」を叙述する。そして、自分史の単なる集合体ではなく、相互の関連性、共同性をもたせるような総論的考察をおこなう。

## 4. 研究成果

(1)当初予想していたとおり、「市民の自分史」研究が、時代設定、主体/自分、エゴドキュメント、歴史のナラティブ、シチズンシップ、公共性といった問題域の研究動向に深くかかわっており、歴史学の方法論的省察にも寄与しうるものであることが確認できた。各分担者は、フランス、ドイツ、イギリス、アメリカ合衆国、メキシコ、ソ連の各国に生きた「市民」のエゴ・ドキュメントを発掘し、彼・彼女らの「自分史」の読み込みをすすめてきた。そして諸史料を通して、市民=個人と国家、地域、都市や村落、サークルといった重層的な公共圏との関係、また「抵抗」「差異化」「啓蒙」「結合関係/アソシエーション」「アイデンティティ」「尊厳性」といったシチズンシップの構成要素が浮かび上がらせた。

研究成果の概要を一覧表にまとめれば、以下ようになる。

久木尚志

年代	エゴ・ドキュメント	シチズンシップとの関連性
1880～1910年代	イギリス：ロンドン港湾労働組合指導者 B.テイレットの自伝（1931年）等の史料	不定期・非熟練労働者の組織化を通じた「教育」、自立する労働者像との矛盾
パフォーマンス（語り）とその状況		連関するメタヒストリー
自伝執筆における事実の改竄、その意図と歴史的な意味		市民社会秩序における組織労働の位置づけ、労働組合の存在理由

長井伸仁

年代	エゴ・ドキュメント	シチズンシップとの関連性
世紀転換期～1910年代	フランス：民主派司祭 P.ダブリの回想録、新聞論説等	市民社会における聖職者のアイデンティティと役割

パフォーマンス (語り)とその状況	連関するメタヒストリー
聖職離脱後、自己の体験の回想を通じて聖職者を批判	共和国における教会・聖職者の統合。国家・近代社会と教会の関係(ラリマン)

槇原茂

年代	エゴ・ドキュメント	シチズンシップとの関連性
1900～1940年代	フランス：ブルボネ地方の農民 J.ルジュロンの手紙, 論説	ブルボネ地方における農業アソシアシオン形成, 行政権力との関係
パフォーマンス (語り)とその状況	連関するメタヒストリー	
手紙を書く行為, 社会的実践が生み出すアイデンティティと緊張関係	農村アソシアシオンの意味。第三共和政, ヴィシー政権期のコルポラティズム	

長田浩彰

年代	エゴ・ドキュメント	シチズンシップとの関連性
1930～1940年代初め	ドイツ：ユダヤ人配偶者をもつ作家 J.クレッパの日記, 手紙	家族(ユダヤ人の妻子)を, ナチスのユダヤ人迫害から守ろうとする抵抗
パフォーマンス (語り)とその状況	連関するメタヒストリー	
アイデンティティの拠り所としての日記, 信仰実践と市民性	ナチ的公共圏から排除されたドイツ人「市民」の尊厳	

寺田由美

年代	エゴ・ドキュメント	シチズンシップとの関連性
世紀転換期～1910年代	アメリカ合衆国：女性労働組合指導者 R.シュナイダーマンの手紙, 自伝等	労働運動の転換, 殊に女性労働者の組織化の進展, 男性労働者との軋轢
パフォーマンス (語り)とその状況	連関するメタヒストリー	
ナラティブに向かう意識：中流階級との対抗と協力の関係	労働者の市民的「自立」とジェンダー, 階級, エスニシティの関係	

中野博文

年代	エゴ・ドキュメント	シチズンシップとの関連性
19世紀後半～世紀転換期	アメリカ合衆国：H・アダムズのサロンに集った女性, 殊に E.キャメロンの文書	家族, 友人との関係の変化の背後にある公共性の変容
パフォーマンス (語り)とその状況	連関するメタヒストリー	
中産階級のサロンにおける親密圏, プロト公共圏, 公共圏の重層的な関係	門戸開放主義を支えた「美徳意識」と「市民」観	

青木利夫

年代	エゴ・ドキュメント	シチズンシップとの関連性
1900～1940年代	メキシコ：S.ソテーロ＝アレバロの自伝ほか, 農村教師の回想	公教育普及期の農村教師の経歴, リテラシー, 20世紀前半の農村社会の変容
パフォーマンス (語り)とその状況	連関するメタヒストリー	
他者(国家, 地域支配層, 共同体)との関係におけるアイデンティティの揺らぎ	メキシコ農村社会の近代化とインディヘニスマ	

松井康浩

年代	エゴ・ドキュメント	シチズンシップとの関連性
1920～1930年代	ソ連：地方のトロツキー派が後期ソヴィエト期に執筆した回想	多数派(スターリン派)に対する少数派(トロツキー派)の抵抗の歴史
パフォーマンス (語り)とその状況	連関するメタヒストリー	
少数派(トロツキー派)による体制への異議申立て。回想のナラティブの意味	スターリン体制下の少数派における市民的要素の読み取り	

(2)対象とする 19-20 世紀転換期～両大戦間期の時代に生きた「市民」の自分史語り→研究者の読み取り、語りを構成する歴史の層(レイヤー)の分析と解釈→新たな語り(叙述)→「市民(シチズンシップ)の自分史」の編集。この最終段階にあるが、方法論的な考察に手間取ったこともあり、なおも個別の成果発表しかできていない。したがって、今後も共同研究の枠組みを維持しながら、「市民の自分史」集の出版をめざすことになる。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 13 件)

1. 寺田由美、フランス・ウィラードと社会的福音、北九州市立大学比較文化学科紀要、81 号、査読無、2012、印刷中
2. 久木尚志、ベンジャミン・ティレットの強制仲裁法制化決議案、北九州市立大学外国語学部紀要、査読無、132 号、2012、9-39
3. 長井伸仁、貧しさのなかで生きること—近代フランス都市住民の日常性と共同性—、査読有、886 号、2011、53-63
4. AOKI, Toshio、El centenario de la independencia como espacio social: el caso de Guadalajara, México、文明科学研究、査読有、第 6 巻、2011、13-20
5. 榎原茂、書評 Rémy Pech, *Jaurès paysan*, Toulouse, Privat, 2009.、加藤克夫先生退職記念論集、2011、39-46
6. 長井伸仁、プロソポグラフィとミクロの社会史—フランス近現代史研究の動向から—、思想、査読無、1032 号、2010、143-158
7. 長田浩彰、「人種汚辱罪」—第三帝国下のドイツ人とユダヤ人のカップルの悲劇的事例、西洋史学報、査読有、第 37 巻、2010、173-193
8. 長井伸仁、プロソポグラフィとミクロの社会史—フランス近現代史研究の動向から—、思想、査読有、1032 号、2010、143-159
9. 松井康浩、後期ソヴィエト体制下を生きた市民の「主体性」—ライフストーリー文書を手がかりに、ロシア史研究、査読有、87 号、2010、23-39
10. 青木利夫、メキシコにおける農村教師養成の歴史にかんする—考察、文明科学研究、査読有、第 5 巻、2010、21-34
11. 中野博文、ニューレフト史学のアメリカニズム、アメリカ史評論、査読無、第 27 巻、2009、38-45

12. 青木利夫、メキシコにおける二言語・文化間教育の導入をめぐる一考察、文明科学研究、査読有、第 4 巻、2009、1-16

13. 長井伸仁、都市の入移民と文化—19 世紀パリの事例から考える—、史潮、査読有、66 号、2009、47-56

[学会発表] (計 9 件)

1. 松井康浩、ラーグリ帰還者による自分史とソヴィエト史—トロツキー派党員の回想録を手がかりに—、ソ連東欧史研究会、2012 年 1 月 28 日、九州大学
2. 中野博文、ヘンリ・アダムズの教育を読む、中四国アメリカ学会、2011 年 11 月 26 日、広島経済大学
3. 中野博文、アメリカ民主政の起源を求めて—ヘンリ・アダムズとその時代—、関西アメリカ史研究会年次大会、2011 年 11 月 13 日、キャンパスプラザ京都
4. 寺田由美、フランス・ウィラードと社会的福音、日本アメリカ史学会、2011 年 9 月 17 日、北九州市立大学
5. 榎原茂、エゴ・ドキュメントと農民自治—20 世紀初頭ブルボネ地方の農民の事例を中心に—、中国四国歴史学地理学協会 2011 年度大会、2011 年 6 月 19 日、下関市立大学
6. 松井康浩、後期ソヴィエト体制下の市民による「自分史」の試み、ソ連東欧史研究会、2010 年 12 月 26 日、西南学院大学
7. NAGAI Nobuhito、Impossible liberté: les historiens japonais à l'épreuve de la modernité, Philosophical researches on the phenomenon of 'Liberty:'. An interdisciplinary dialogue, Nov. 23, 2010, Saint Tikhon Universtiy, Moscow (Russia)
8. 青木利夫、メキシコにおける多文化主義と先住民教育、日本比較教育学会第 46 回大会、2010 年 6 月 27 日、神戸大学
9. 長井伸仁、都市の移民と文化—19 世紀後半のパリにおける地方出身者の事例—、日仏歴史学会第 2 回研究大会、2010 年 3 月 27 日、奈良女子大学

[図書] (計 6 件)

1. 長田浩彰、広島大学出版会、われらユダヤ系ドイツ人—マイノリティから見たドイツ現代史 1893-1951、2011、512
2. 中野博文、久木尚志、他、国際関係学の第一歩、2011、242
3. 寺田由美、他、昭和堂、アメリカ史のフロンティア 1、2010、246
4. 久木尚志、他、昭和堂、イギリス文化史、2010、359

5. 榎原茂, 他、青木書店、由緒の比較史、2010、443

6. 中野博文, 他、彩流社、アメリカの愛国心とアイデンティティ、2009、264

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

榎原 茂 (MAKIHARA SHIGERU)

島根大学・教育学部・教授

研究者番号：00209412

### (2) 研究分担者

長田 浩彰 (NAGATA HIROAKI)

広島大学・総合科学研究科・教授

研究者番号：40228028

研究分担者

久木 尚志 (HISAKI HISASHI)

北九州市立大学・外国語学部・教授

研究者番号：50238292

研究分担者

長井 伸仁 (NAGAI NOBUHITO)

徳島大学・大学院ソシオ・アーツ・アンド・

サイエンス研究部・准教授

研究者番号：10322190

研究分担者

中野 博文 (NAKANO HIROHUMI)

北九州市立大学・外国語学部・教授

研究者番号：10253030

研究分担者

寺田 由美 (TERADA YUMI)

北九州市立大学・文学部・准教授

研究者番号：40285458

研究分担者

青木 利夫 (AOKI TOSHIO)

広島大学・総合科学研究科・准教授

研究者番号：40304365

研究分担者

松井 康浩 (MATSUI YASUHIRO)

九州大学・比較社会文化研究院・教授

研究者番号：70219377

### (3) 連携研究者 該当なし

( )

研究者番号：